



二葉だより

.sumida.ed.jp/futabasho/

平成28年5月2日

No. 2

墨田区立二葉小学校

「東京オリンピック・パラリンピック教育 キックオフ」

校長 水谷 光一

文科省の科学技術白書によるとカラーテレビの普及率は、1968年(昭和43年)には7%に過ぎなかったのが1973年(昭和48年)には78%となり、白黒テレビの普及率を抜いたそうです。劇的な数字の伸びは、テレビの生産技術が発達したからですが、1972年の冬季オリンピックも一役買ったのではないのでしょうか。当時、小学生であった私もこのオリンピックを覚えています。日本のスキージャンプ陣がジャンプ70m級(現在ノーマルヒル)で、1位、2位、3位と表彰台を独占したことは特に印象に残っています。「こういうスポーツがあるのだ。」と思いました。幼い時の記憶は、その後の人生に影響することが多くあります。

2020年には、東京でオリンピック・パラリンピックが開催されます。オリンピック・パラリンピックを通し、東京都は育成すべき5つの資質を①ボランティアマインド ②障害者理解 ③スポーツ志向 ④日本人としての自覚と誇り ⑤豊かな国際感覚として、これらの資質を伸ばすために「世界ともだちプロジェクト」など、4つのプロジェクトを立ちあげています。「世界ともだちプロジェクト」は「世界には多くの国があり、その国の様々な人種や言語、文化、歴史などを学ぶことを通して、単に知識を広げるだけではなく、世界の多様性を知り、様々な価値観を尊重することの重要性を理解するものである。」としています。オリンピック・パラリンピックが、スポーツの祭典というだけでなく、また、自分の住んでいる東京であったというだけでなく、その後の人生に影響するような価値のあるものになることを願っています。

リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックの開会式で灯される聖火の採火式が、4月21日にオリンピック発祥の地、ギリシャのオリンピアにある神殿跡で行われたそうです。いよいよ、リオデジャネイロ・オリンピックの始まりです。五大陸のバランスをある程度考慮した参加予定国5カ国を一つのグループとする二葉小学校の国割表が東京都から提示されました。イタリア共和国、スイス連邦、スリナム共和国、シェラレオネ共和国、サウジアラビア王国です。子供たちになじみの深いイタリアを運動会の赤白シンボルマークのイメージに取り入れたいと思います。子供たちの心に身近な国として引き寄せてもらいたいです。

卒業した子供たちと何が楽しい思い出に残ったのか話をしたとき、運動会があがりました。この子は、運動会を真剣に頑張っていたのだなと感心しました。きちんと心と体に残っていたのです。

東京オリンピック・パラリンピックが子供たち一人一人の心と体に残るものとなるように、オリンピック・パラリンピック教育のキックオフです。

5月 体力向上月間 運動会、わんぱく相撲、区民陸上大会もあります。この体力向上月間を受け、6月に体力テストをします。昨年度の体力テストから本校の児童は特にボール投げ・立ち幅跳びなどが得意でないことがわかりました。元気よく遊んだり、その運動を取り入れ身体を動かしたりして、体力を身に付けていってほしいです。

